

プレスリリース

2022年11月吉日
笠間日動美術館

心のありか
—いのり・ふるさと・うた—
会期：2023年1月2日（月）—2月26日（日）



奥谷 博「阿修羅」1998年

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当館では、令和5（2023）年1月2日（月）から2月26日（日）にかけて、人々が生きる上で心のよりどころとしてきたもの—ふるさとの情景、信仰、そして音楽など—をテーマとした企画展を開催いたします。さまざまな困難に直面し、心が揺らぎやすい今の時代にこそ、多くの方々にご高覧いただきたい展示です。

以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

■開催趣旨

人々が生きる上で「心の支え」や「よりどころ」にしてきたもの。生まれ育ったふるさとの情景や自然、信仰、そして音楽など、人それぞれかたちは違っても、誰しものが心のなかに持っているものといえるでしょう。本展では当館が所蔵する作品から、自身もクリスチャンであった小磯良平が描いた聖書の挿絵原画32点を下絵とともに展示するほか、笠間出身の山下りんによるイコン画をごらんいただきます。

神社仏閣や教会などの祈りをささげるための場所を描いた作品や、山などの自然や茅葺き屋根の古民家といった日本の原風景を描いた作品を展示いたします。また音楽は古くから人々の心を慰めてきたことから、笠間ゆかりの歌手・坂本九の写真や長瀬剛の絵画作品などミュージシャンに関連する作品を紹介します。国や民族、宗教が違っても、人の祈る心や故郷を想う心に違いはありません。さまざまな困難に直面している今の時代にこそ、見つめてみてはいかがでしょうか。

■展覧会構成

[第一会場] —神社仏閣やふるさとの自然、音楽などさまざまな「心のよりどころ」を紹介—

神社仏閣や教会など礼拝のための場所を描いた絵画をはじめとして、ふるさとの情景や自然といった人々が心のよりどころとしてきた存在をモチーフにした作品など、特定の宗教に限らず人々の「心の支え」や「祈り」を表現した絵画を展示します。また、音楽は古くから人々の心を慰めてきたことから、坂本九の写真や長瀬剛による仏画など、ミュージシャンに関連した作品も紹介します。

[第二会場] —小磯良平の聖画を中心に紹介—

神戸市出身でクリスチャンの家庭に育った小磯良平が口語聖書のために手がけた挿絵の原画を下絵とともに展示します。旧約・新約聖書の32場面を描くために小磯は43点の下絵を準備しています。卓越したデッサン力による写実的表現を得意とした小磯が、イメージネーションにより聖書の場面を描き出す制作の過程を垣間見ることができます。

■関連イベント

・ギャラリートーク（参加費：無料[要入館料]/ 場所：企画展示館）

1/9（月・祝）、2/18（土） 各回 14 時～（30 分程度）

※各イベントについては、新型コロナウイルスの影響による変更、中止の可能性がございます。ご了承ください。

・同時開催 写真公募展2023

会場：企画展示館2階中央展示室

審査員：稲田 浩男氏／小曾納 久男氏 他

・フランス館 仁・林子記念室の展覧会

「新春を寿ぐ」

2023年1月2日(月)～2月1日(水)

高橋由一「鮭図」(当館蔵) を展示します。

「ふるさと笠間を描く

—郷土画家による風景画の饗宴—

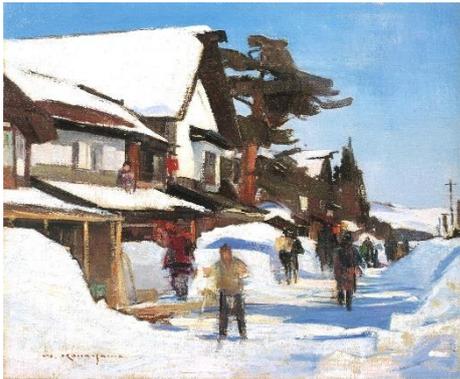
2023年2月3日(金)～3月2日(水)

■ 出品予定作家および作品

(「坂本九氏写真」を除く6点はすべて笠間日動美術館蔵)



坂本九氏写真 (提供: 坂本九音楽事務所)



金山平三「大石田」1945-56年



長淵剛「不動明王～怒りが悲しみに変わる時～」1998年



山下りん「機密の晩餐」



山下りん「ヤコブ像 (使徒之図)」



柏本龍太「響」2022年



原太一「Once upon a time」2022年

■ 展覧会概要

- 展覧会名 心のありか ―いのり・ふるさと・うた―
会 期 2023年1月2日（月）～2月26日（日）
会 場 笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間978-4）
開館時間 午前9時30分より午後5時（入館受付は午後4時30分まで）
休 館 日 毎週月曜日（但し、1月2日（月）、1月9日（月・祝）は開館。1月10日（火）休館）
入 館 料 大人 1000円／65 歳以上 800円／大学・高校生 700円／中小学生 無料
[割引]
20名以上の団体は200円割引／障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引
[春風萬里荘（北大路魯山人旧居）との割引]
当日の美術館チケットをお持ちの方は200円割引にてご入館いただけます（小学生は200円）。
- 主 催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
協 力 坂本九音楽事務所
後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／茨城新聞社
朝日新聞水戸総局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞社水戸支局
読売新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■ 交通案内

[JR利用]

- ・常磐線友部駅北口より『かさま観光周遊バス』（9:50/10:50/11:50 発）で 15 分
「日動美術館」下車後、徒歩 1 分（1回乗車につき 100 円/1日フリー乗車券 300 円）
- ・水戸線笠間駅より徒歩約 30 分、レンタサイクル約 10 分
または市内循環バスで約 15 分「日動美術館入口」下車徒歩 2 分

[自動車利用]

- ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

■ 問い合わせ先

- ・「心のありか ―いのり・ふるさと・うた―」
担当：長谷川／塚野
〒309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館
Mail hasegawa@nichido-museum.or.jp
hasegawamidori310@gmail.com
TEL 0296-72-2160 FAX 0296-72-5655

以上